

New!

# ふれあい通信 冬号

平成27年冬号

発行

(株)高橋政雄設計事務所

さいたま市緑区中尾270

電話048-873-4244

<http://www.takahashi-sekkei.jp>

## 主な紙面

空き家特集  
 地震保険料の地域差拡大  
 イベントお礼  
 現場レポート「マンション」  
 地域ニュース「木育スペース」

## イベント情報

トイレリフォームフェア  
 日時 12月12日(土) 10時~16時  
 場所 リクシルショールーム  
 住所 さいたま市緑区三室1-158-3

# 川口信用金庫と提携

## 空き家解体ローンで初 最大0・3%金利優遇

川口信用金庫は空き家解体無担保ローンの取り扱いを始めました。最大500万円まで融資します。埼玉県南部に在住または勤務する人が対象となります。

融資内容は解体のほかに滅失登記手続きも含まれます。

空き家解体ローンは地方都市で目立つようになっていますが、東京に近い都市部ではまだ珍しいといえます。しかし、近い将来必ず問題になる「空き家」をどうにかしなく

てはならないという、川口信用金庫の思いと当社との思いが合致し、提携することになりました。現在2・975%の金利が2・675%となります。最大0・3%の金利優遇となります。

# 空き家相続、売却で減税

## 3000万円の控除検討

国交省と財務省は、親などから相続した空き家や土地を売却した場合に税負担を軽くする制度の検討に入りました。

相続してから3年以内に取り壊しや耐震リフォームをして、

売却した場合に譲渡所得から3000万円を特別控除する案です。

対象は1981年前に建てられた戸建住宅など。

## 国交省推計

### 駅近空き家 48万戸利用可能

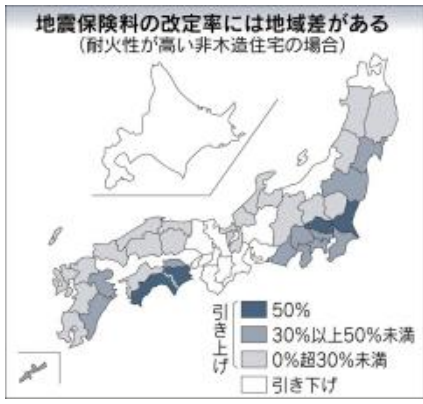
全国の空家のうち、鉄道駅から1km以内にあり、簡単なリフォームで利用できる家屋が48万戸に上がると推計をまとめました。今後、少子高齢化を背景に行政や医療などの機能を中心部に集約した町づくりを進める上で市街地などの空き家を有効利用していくとのこと。

# 地震保険料の地域差拡大

## 2017年改訂 3・7倍に

政府と損保会社が2017年1月から実施する家庭向け地震保険料の改定案がわかりました。地震発生リスクに見合う保険料に近づけるため、埼玉県や茨城県などの保険料が50%上がる一方、大阪府や愛知県では安くなります。

現在3・1倍の地域差は3・7倍に広がる見込みです。  
政府と損保各社は2017年から段階的に地震保険料を見直し、2021年までに全国平均で19%上げる方針を固めています。  
埼玉県の非木造住宅の場合、保険金1000万円当たりの保険料は年1万3600円。これが2021年には2万円程度になる見込みです。



地震保険は耐震等級3で50%の割引となり。地震保険が上がり続ける今、住宅性能で節約することも可能です。

# 第五回ふれあい感謝祭お礼

早いもので五回目の開催を迎えたふれあい感謝祭、今回もたくさんの方にご来場頂き誠にありがとうございました。スタッフ一同、深く御礼申し上げます。

地元の方々やOBのお客様をはじめ、お子様まで楽しんでお帰りになされた事と思います。

弊社は、皆さまにより良い住まいのサービス、サポートができるよう一層努めて参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

来年も引き続き皆さまに楽しんで頂けるような感謝祭を開催致しますのでお楽しみにして下さい。

高橋佑輔

## ワークショップ「クリスマスキャンドルづくり」

11/28(土)に、カフェのかさんにて、第一回目のワークショップを開催致しました。今季節にぴったりの「クリスマスアロマキャンドルづくり」を行いました。お子様から男性まで、8名の方に楽しんでいただきました。

今後も皆さまに喜んでいただけるようなワークショップを企画してまいりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

桑名紀子  
酒井菜美絵





